



ケータイ

2015年(平成27年) 4月12日発行

主な内容

- ②……4月から介護保険料の基準月額が変わります
- ③……応急診療所のご案内、健康エブリデー、国津の杜の行事
- ④……5月の相談、広報なばりを見直します

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

◎ 今年の総合防災訓練は、11月8日(日)に実施する予定です。詳細が決まり次第、広報なばりでお知らせします。

## 備えて、実践!

### ～昨年(2014年)の総合防災訓練の検証～

昨年11月30日に市内全域で実施した市総合防災訓練では、市民や防災関係者ら約15,000人が参加。一昨年と比べ、各地域づくり組織では、避難所開設や運営の訓練を行うなど、より実践的な訓練になりました。参加者のアンケートなどから訓練を検証し、万が一に備え、今後も訓練を継続したいと思えます。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271



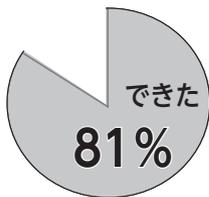
#### 検証 1 避難情報は伝わったか?



地域独自で整備した無線機、サイレンなどを活用した情報伝達が行われました。隣近所が声掛けて伝える方法も推進していきます。

共同住宅(マンションなど)の入居者は、自治会に加入していない場合もあり、入居状況などの把握が難しいことがあります。携帯メールで情報を知らせる防災はつとメールの登録も呼びかけます。

避難情報の伝達  
できたか?



#### こんな意見をいただきました

- ・日ごろから訓練に参加する。顔つきが大切
- ・ご近所に高齢者が多いことに気が付いた

#### 検証 2 避難行動はとれたか?



全地域一斉に避難訓練が行われ、一時避難場所や訓練時の避難方法などは回覧で周知されました。地域によっては、自主防災マップを作成し、安全なルートの確認も行われました。

安否確認のできない家庭の対応をどうするか。また、災害時要援護者の避難支援をどうするかなどが課題です。



#### こんな意見をいただきました

- ・避難所は遠くて歩くのが疲れた
- ・坂道も多く、幼児との避難は大変でした
- ・年を取ると避難所の階段が昇れるか不安

#### 検証 3 避難所での活動は?



避難所を開設するには、地域の実情に応じたマニュアルの作成が必要です。防災知識と技術を有する自主防災リーダーの育成が求められます。

中学生が避難所の受付を手伝ったり、レジ袋とガーゼで作成した簡易オムツを作製するなど若者や子育て世代の参加を増やす取り組みもありました。



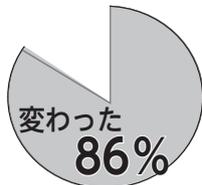
#### こんな意見をいただきました

- ・役割分担をして、役員には女性も必要
- ・避難者がまとめて来ると、受付が混乱した
- ・炊き出し訓練は、男性も体験してほしい

#### 検証 4 今回の訓練の総括



防災に対する意識は  
変わりましたか?



一昨年に比べ、地震と風水害が同時に発生したなど被害を大きく想定して実施しました。情報の共有化が図れていないことや防災行政無線機の不具合により混乱したことなど、課題も残りました。

地域訓練では、各地域が主体となって課題を把握することができ、防災力を底上げすることができました。



#### こんな意見をいただきました

- ・訓練は定期的開催し、多くの人に参加してほしい
- ・観光客が多い地域なので、観光施設と連携が必要
- ・防災行政無線機が機能していなかった

本日4月12日は、三重県知事選挙投票日です。(投票時間 午前7時～午後8時)

※三重県議会議員選挙 名張市選挙区は、定数2人に対し、立候補者2人で無投票になりました。

☎ 選挙管理委員会 ☎ 63-7314